

郷土室だより

東京都中央区立 京橋図書館

東京都中央区築地1-1-1

電話 3543-9025

刊行物登録番号 06-060

『中央区沿革図集』

〔日本橋篇〕ができました！

神戸市立博物館

中央区教育委員会が

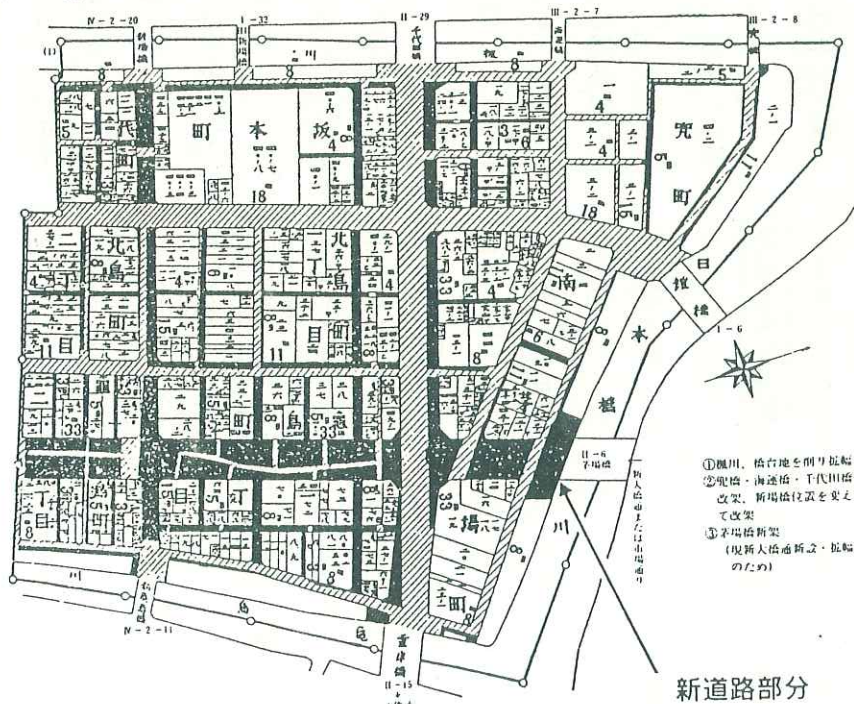
計画した地図集の第二巻目の〔日本橋篇〕は、予定どおりでき上って、近いうちにみなさんに見ていただけることになりました。

そのお知らせのはじめが「神戸市立博物館」という見出しなのは、それなりの理由があります。

それはこの〔日本橋篇〕の見返しを飾った「朝鮮人来朝図」（羽川藤永筆）は、神戸市立博物館から借用した絵（カラーフィルム）だったからです。

この絵を〔日本橋篇〕の“看板”とも“顔”ともいえる場所に掲載したのは、普通は「鎖国時代」だと簡単に片

第15地区（整理後）



昭和5年 帝都復興事業の区画整理図の一例（第15地区）黒い部分が新しく道路になった所。

付けられている江戸時代でも、日本橋地区はこの絵に見られるように日本と朝鮮両国の間には、民衆もまじえてさかんな国際交流があったことを、見ていただきたかったからです。

さらにこの絵柄で代表される幾つかの同じような構図の、日本橋の町並みには、すべてが遠く富士山と、中ほどに江戸城の石垣と松を背景にして、描かれています。

ということは、江戸期の日本橋地区は現在と同じように、日本を実質的に代表する場所だったことを物語っているわけです。

思いも寄らない阪神大震災で大きな犠牲を払われた方々をはじめ、この絵を借して下さった博物館も、深刻な被害を受けたと伝えられています。発行にあたり被災地のみなさんの一日も早い復活・復興を心からお祈りいたします。

す。

まちづくりの原点

『中央区沿革図集』の編集上の一つの柱は、四百年來の江戸と東京の町の変化を明らかにすることにありと考えております。

その方法として、一つは中央区をめぐる自然条件を確認することと、一つは都市の制度が実際の町並みにどのような影響を与えてきたかを検討することにあります。

この方針によって今度の「日本橋篇」でもいくつかの「目玉」を設定しました。具体的には後出の掲載図一覧のとおりなのですが、ここではとくに強調したい四点について、簡単に説明することにします。

地下の有様を知る図

四百年前に徳川家康が江戸に來た当時の江戸の姿、中央区の区域はどのような土地の上に成立したのかを知るために、地質図・地

盤図を掲げました。

またもや地震の話になってしまいました。したが、それぞれの時点で地下から得た情報を紹介することは、町づくりはもちろん、防災上の基礎知識の提供の意味もあります。

区民有形文化財の復刻

中央区教育委員会は平成二年度に、長い間区役所に保存されてきた『寛保沽券図』かんぼうこけんずを区民有形文化財に指定しましたが、それを復刻しました。案外知られていなかった各町の私有地と道路・下水・庇下などの関係の寸法がくわしいので、江戸の研究に新しい分野がひらけそうな期待がもてる図です。

帝都復興区画整理

六五年前に当時の日本橋地区の町並みを一変させた区画整理の実施前と実施後の有様が比較できるものです。この区画整理による町並みは、現在もほとんど変化していな

いことに一種のおどろきを覚えること
 でしょう。都市計画の継続性を考える
 一つの資料として利用できそうです。

「祝祭都市 日本橋の町々」 「日本橋

よろず地図」の中の「祝祭都市「日
 本橋」は、日本橋の人々の神様だった
 「三天王」と、天下祭と呼ばれた官製
 の祭りとの関係を図化したものです。

〔日本橋篇〕掲載図一覧

- 1 中央区の地下の有様
 地質図・地盤図・地下鉄工事で
 わかった地質の図などで、中央区
 の四〇〇年前の姿が読みとれるも
 のです。
- 2 武州豊嶋郡江戸庄図
 現在、知られている最古の江戸
 都市図で初期の江戸を知る標準的
 地図。
- 3 江戸方角安見図鑑の日本橋

五枚の地図からなり、町人の活
 躍の様子がよくわかるもの。

4 御府内沿革図書

幕府が作った日本橋詳細図。い
 ろいろな理由で、町並みが変わり
 た都度、刻明にその相違点が描か
 れた図。町名の変化とその場所も
 わかる便利なもの。

5 寛保沽券図(附図とも一八枚)

中央区民有形文化財である一六
 枚の図を、誰でも読めるように工
 夫して復刻しました。この約二五
 〇年前の土地台帳兼公図・兼登記
 簿は、人々の地域への関心や、都
 市計画の実際面を知るための、便
 利な図になることでしょう。

6 改訂「江戸之下町復元図」

原著の中から神田・日本橋地区
 を抜き出したもの。多数の江戸期
 の地図を、整理して集大成した、

情報量の豊かな図です。

7 大区小区時代の日本橋

明治六年の沽券図と、明治九年
 の東京全区図。これは市区改正前の
 江戸の町の姿を正確に図化したも
 ので、江戸の町の形が再現できる
 資料です。

8 参謀本部陸軍部の東京図

この図は地上の事物を精密に測
 量して図化したもので、行政区画
 図とは異なり、リアルに町の有様
 がわかる図です。

9 明治末期の日本橋地区

明治四〇年の東京郵便局作成の
 地図と、東京市営に統合される前
 の市内電車路線図と、昭和三年当
 時の日本橋を中心にした水上交通
 ー汽船運転系統図の三図。

10 大正元年 日本橋区地籍地図

関東大震災前の日本橋地区の

もっとも詳細な地図だと考えられています。もちろん当時の地番と地主の関係が中心です。

11 関東大震災火流図

神戸の長田区のように区内が燃えるにまかせて全焼した経過図です。

12 帝都復興事業による変化

一面の焼野原に区画整理が行われ、それを七地区に分けて新旧対照したもの。なお町界町名整理の資料もつけ加えました。

13 昭和七、一一年の火保図

〔月島篇〕以来おなじみの「火災保険地図」です。戦前の家なみ・居住者を知るには最適な資料です。

14 昭和二〇年代の火保図

引き続いて敗戦直後から、戦災復興期の日本橋地区の家なみ図で

す。〔月島篇〕の「思い出」マップの例もありましたので、この篇では、13・14に色をつけて見ました。

15 昭和三七年頃の〔日本橋地区〕

高度成長期の初期の日本橋地区の地図と航空写真です。航空写真には日本橋川にフタをするような自動車道が建設中の有様がよくわかります。

16 日本橋よるず地図

日本橋の①名所・旧跡・文化財、②関東大震災前の日本橋、③神社・仏閣・教会、④「祝祭都市」としての「三天王」の祭り、天下祭と呼ばれる日枝山王と神田明神の産子町の分布と山車番組、⑤七七年版と九四年版の人形町イラストマップ、⑥日本橋人国記、⑦「楓川鎧之渡古跡考」と、計八枚

の地図で日本橋の今・むかしをさぐるもの。

17 中央区現状図

最後はおなじみの国土地理院の一万分一図と航空写真です。

お知らせ

『中央区沿革図集』（日本橋篇）は、三月三十一日からご希望の方に一冊一万二千円でお分けしています。

中央区役所一階の公文書公開コーナー、京橋図書館、日本橋図書館、そして月島図書館の四か所で取り扱っています。

なおそれぞれの頒布場所には、昨年度に発行された〔月島篇〕もありましたので、あわせてご覧下さるよう、ご案内いたします。